

「JAの自己改革に関する組合員調査」 最終集計結果

【広島県・全国比較】



令和 2 年 8 月
広島県農業協同組合中央会

「JAの自己改革に関する組合員調査結果」 広島県と全国の比較結果

項目	スライド 番号	調査対象	中間結果 (全国) ※H31年度	最終結果 (全国) ※R元年度	最終結果 (広島県) ※R元年度	広島県 －全国 (最終結果)
(1)回答数	2	全組合員	3,886,502件	3,902,603件	222,325件	－
(2)JAは必要な存在	6	全組合員	93.7%	93.7%	95.0%	1.3ポイント
(3)JAは総合事業を継続すべき	7	全組合員	<u>91.8%</u>	<u>91.7%</u>	93.0%	1.3ポイント
(4)営農指導事業への期待度	8	正組合員	80.7%	80.7%	82.5%	1.8ポイント
(5)営農指導事業の満足度	8	正組合員	<u>66.8%</u>	<u>66.7%</u>	68.4%	1.7ポイント
(6)営農指導事業の改善度	8	正組合員	83.9%	83.9%	84.0%	0.1ポイント
(7)農畜産物販売事業への期待度	9	正組合員	<u>76.5%</u>	<u>76.6%</u>	75.2%	▲1.4ポイント
(8)農畜産物販売事業の満足度	9	正組合員	<u>61.3%</u>	<u>61.4%</u>	59.3%	▲2.1ポイント
(9)農畜産物販売事業の改善度	9	正組合員	84.5%	84.5%	82.6%	▲1.9ポイント
(10)生産資材購買事業への期待度	10	正組合員	72.6%	72.6%	73.7%	1.1ポイント
(11)生産資材購買事業の満足度	10	正組合員	60.6%	60.6%	61.6%	1.0ポイント
(12)生産資材購買事業の改善度	10	正組合員	<u>84.4%</u>	<u>84.5%</u>	83.8%	▲0.7ポイント
(13)JAの地域農業振興・地域づくりを応援	11	准組合員	<u>96.0%</u>	<u>96.1%</u>	96.4%	0.3ポイント
(14)准組合員の利用制限をしないほうが良い	12	全組合員	<u>89.4%</u>	<u>89.5%</u>	92.8%	3.3ポイント

「JAの自己改革に関する組合員調査」の概要について

- JAグループでは、①JAグループ自ら、自己改革への評価などに関する正・准組合員の意思を的確に把握し、②正・准組合員の話合い運動強化の契機とするため、「JAの自己改革に関する組合員調査」を実施。
- 本集計は、令和2年4月10日までに回収された原票について集計を実施したものであり、調査期間全体を通じて、**有効回答件数は 222,325件（全国 3,902,603 件）**となった。

【有効回答件数】（カッコ内は全国）

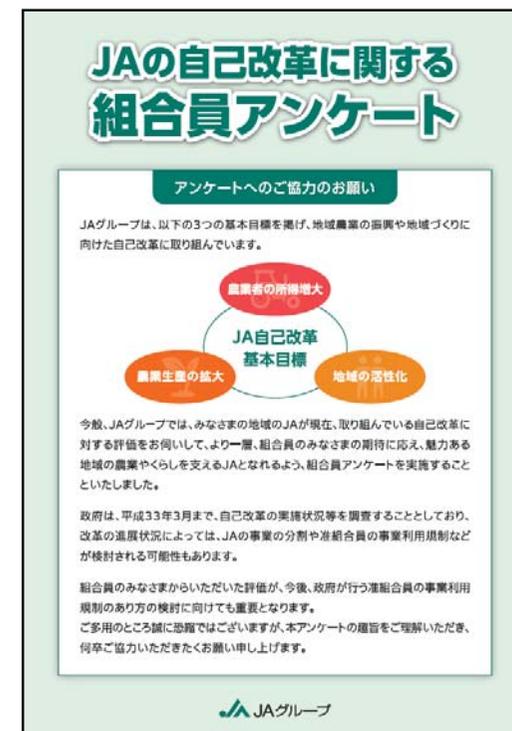
期 間	有効回答数
H30. 12～R1. 12	222, 325件（全国3, 902, 603件）

【回 収 率】

調査期間全体を通じて調査対象とした組合員数：
348,468人（正117,843人・准230,625人）【JA申告に基づく】

回収率： 正組合員 69.7%（全国 70.3%）
准組合員 60.8%（全国 58.1%）
組合員全体 63.8%（全国 64.4%）

なお、業務報告書掲載組合員数（平成30年度末）は436,172人のため、業務報告書掲載組合員の51.6%から回収した。



「JAの自己改革に関する組合員調査」の概要について

以下、一部で正組合員を「正」、
准組合員を「准」と表記する。

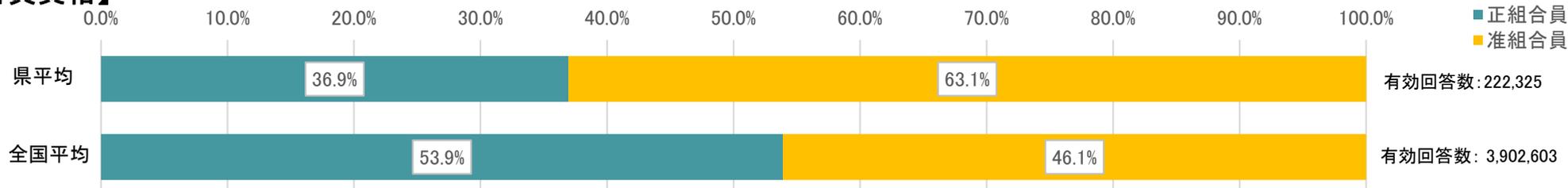
【県内組合員数・調査対象者数および回答率】

JA名	組合員数			調査対象組合員数			調査対象率			有効回答数			対組合員数回収率			対調査対象組合員数回収率		
	正組合員	准組合員		正組合員	准組合員		正組合員	准組合員		正組合員	准組合員		正組合員	准組合員		正組合員	准組合員	
広島市	115,987	15,673	100,314	102,853	13,117	89,736	88.7%	83.7%	89.5%	58,555	10,230	48,325	50.5%	65.3%	48.2%	56.9%	78.0%	53.9%
佐伯中央	30,137	4,555	25,582	21,029	3,350	17,679	69.8%	73.5%	69.1%	11,842	2,319	9,523	39.3%	50.9%	37.2%	56.3%	69.2%	53.9%
安芸	31,538	6,391	25,147	28,941	5,692	23,249	91.8%	89.1%	92.5%	23,488	4,968	18,520	74.5%	77.7%	73.6%	81.2%	87.3%	79.7%
呉	26,908	7,004	19,904	12,791	4,139	8,652	47.5%	59.1%	43.5%	9,560	3,390	6,170	35.5%	48.4%	31.0%	74.7%	81.9%	71.3%
広島中央	33,030	18,582	14,448	25,449	13,736	11,713	77.0%	73.9%	81.1%	18,892	10,237	8,655	57.2%	55.1%	59.9%	74.2%	74.5%	73.9%
芸南	5,978	2,579	3,399	5,311	2,292	3,019	88.8%	88.9%	88.8%	1,403	811	592	23.5%	31.4%	17.4%	26.4%	35.4%	19.6%
広島ゆたか	5,142	2,142	3,000	5,142	2,142	3,000	100.0%	100.0%	100.0%	2,958	1,339	1,619	57.5%	62.5%	54.0%	57.5%	62.5%	54.0%
尾道市	29,152	14,869	14,283	21,819	11,823	9,996	74.8%	79.5%	70.0%	18,108	10,679	7,429	62.1%	71.8%	52.0%	83.0%	90.3%	74.3%
三原	18,262	8,796	9,466	14,048	7,168	6,880	76.9%	81.5%	72.7%	8,651	4,651	4,000	47.4%	52.9%	42.3%	61.6%	64.9%	58.1%
福山市	85,478	28,518	56,960	66,174	24,048	42,126	77.4%	84.3%	74.0%	48,648	18,506	30,142	56.9%	64.9%	52.9%	73.5%	77.0%	71.6%
広島北部	17,232	10,543	6,689	14,355	9,139	5,216	83.3%	86.7%	78.0%	7,166	4,977	2,189	41.6%	47.2%	32.7%	49.9%	54.5%	42.0%
三次	19,013	11,740	7,273	15,037	9,767	5,270	79.1%	83.2%	72.5%	6,616	4,839	1,777	34.8%	41.2%	24.4%	44.0%	49.5%	33.7%
庄原	18,315	13,082	5,233	15,519	11,430	4,089	84.7%	87.4%	78.1%	6,438	5,178	1,260	35.2%	39.6%	24.1%	41.5%	45.3%	30.8%
県合計	436,172	144,474	291,698	348,468	117,843	230,625	79.9%	81.6%	79.1%	222,325	82,124	140,201	51.0%	56.8%	48.1%	63.8%	69.7%	60.8%

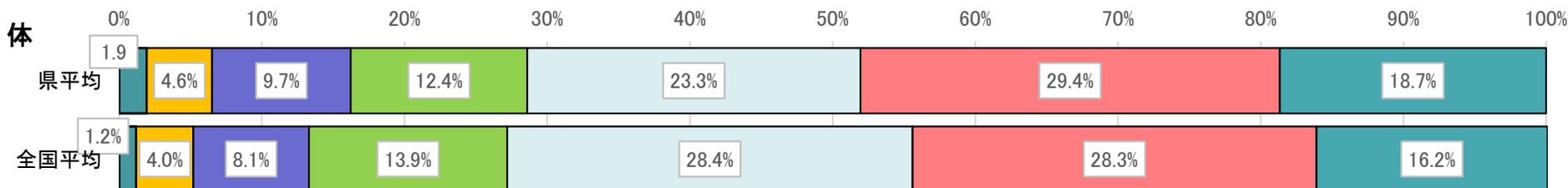
回答者の属性(組合員資格・年齢別分布)

- 回答者の属性は、正組合員が82,124人(全国2,092,127人)、准組合員が140,201人(全国1,790,179人)となった。
- 平均年齢は、全体で66.3歳(全国66.4歳)、正組合員で71.3歳(全国68.9歳)、准組合員で63.4歳(全国63.4歳)となった。

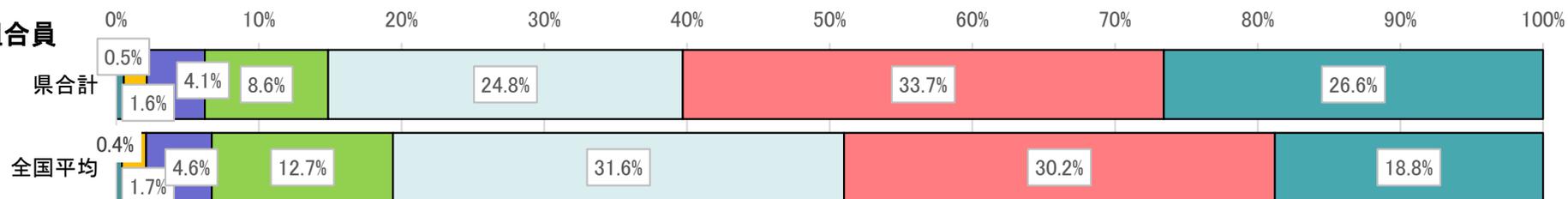
【組合員資格】



全体



正組合員



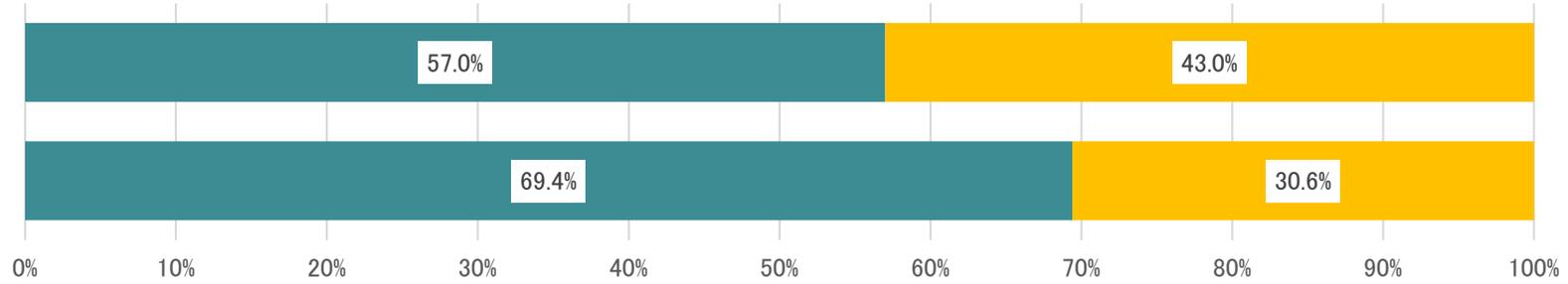
准組合員



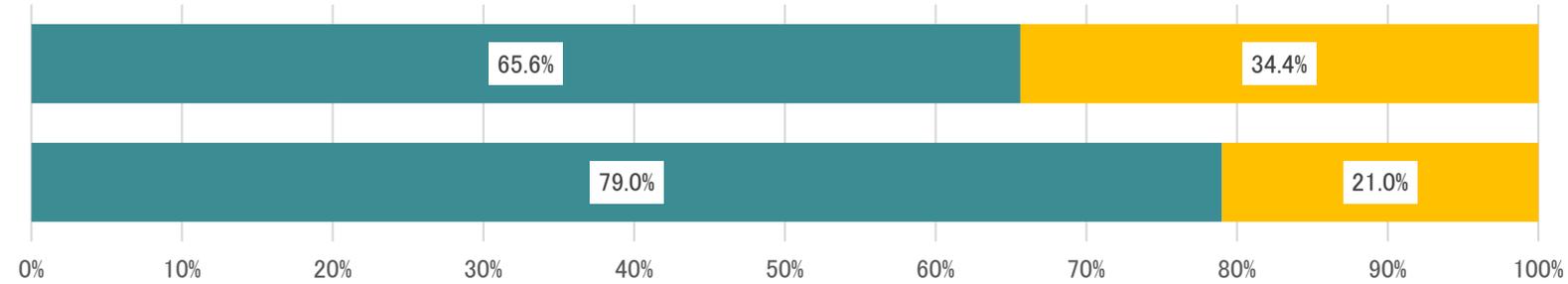
回答者の属性(性別)

○ 回答者の男女比は、男性57%・女性43%となった。

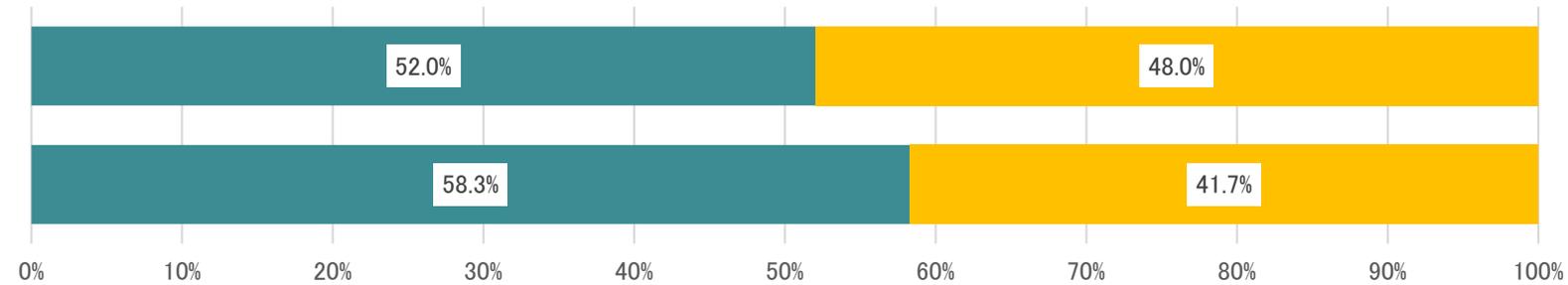
【全 体】



【正組合員】



【准組合員】

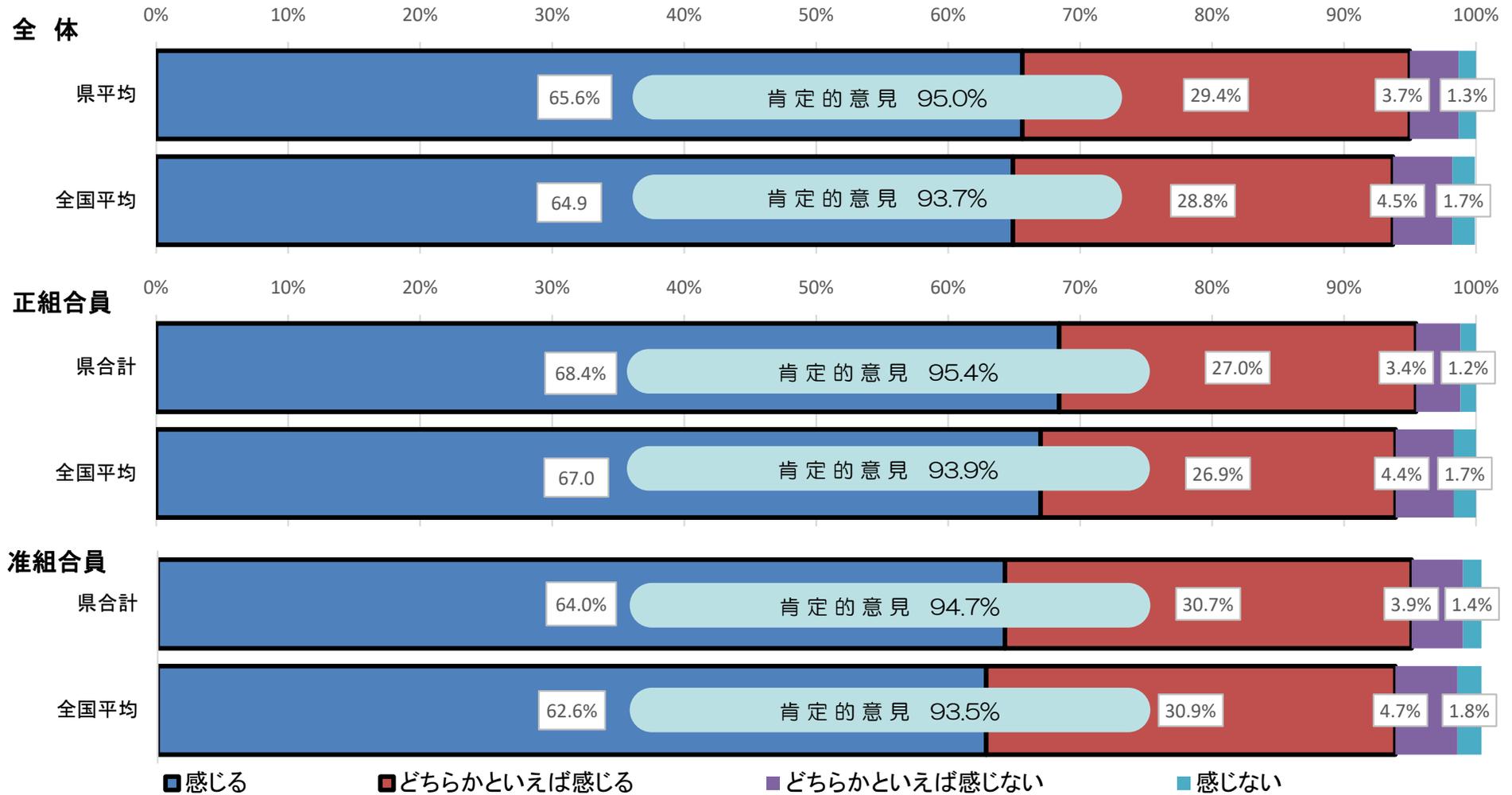


■ 男 ■ 女

調査結果①: JAの必要性、総合事業の継続

○ 「JAの必要性」については、正組合員では95.4%、准組合員では94.7%が「必要な存在だと感じる」「どちらかといえば、必要な存在だと感じる」と回答しており、全国平均を上回る。

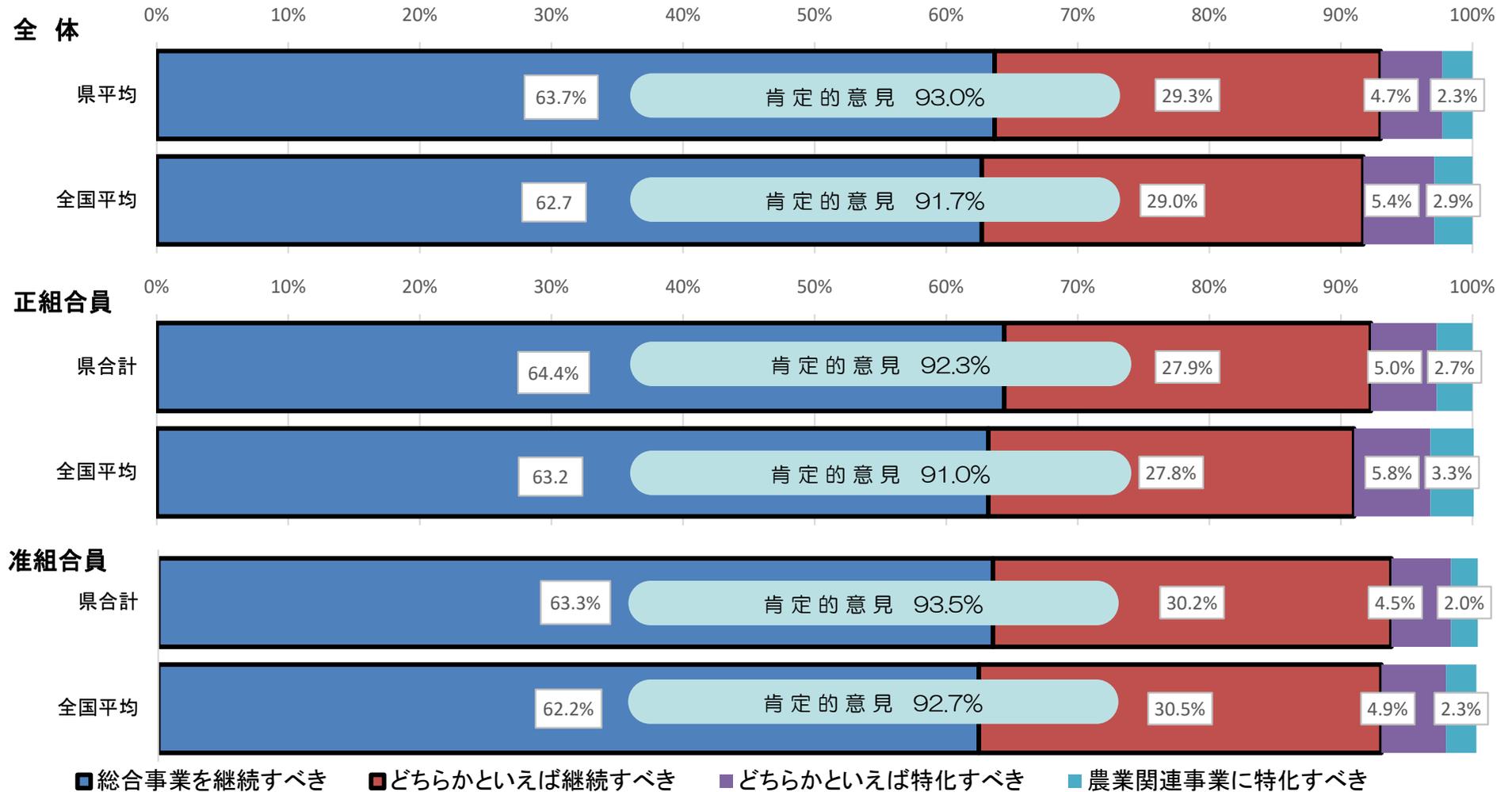
問1B : JAは地域農業や暮らしにとって必要な存在だと感じになりますか？



調査結果①: JAの必要性、総合事業の継続

○ 「JAの総合事業の継続」については、正組合員では92.3%、准組合員では93.5%が「総合事業は継続すべき」「どちらかといえば、総合事業は継続すべき」と回答している。

問1C : JAは、農業関連事業や、信用事業・共済事業など、様々な事業を行っています。このJAの総合事業について、どのようにお考えになりますか？



調査結果②: 営農関連事業の利用・期待度

正組合員のみ回答

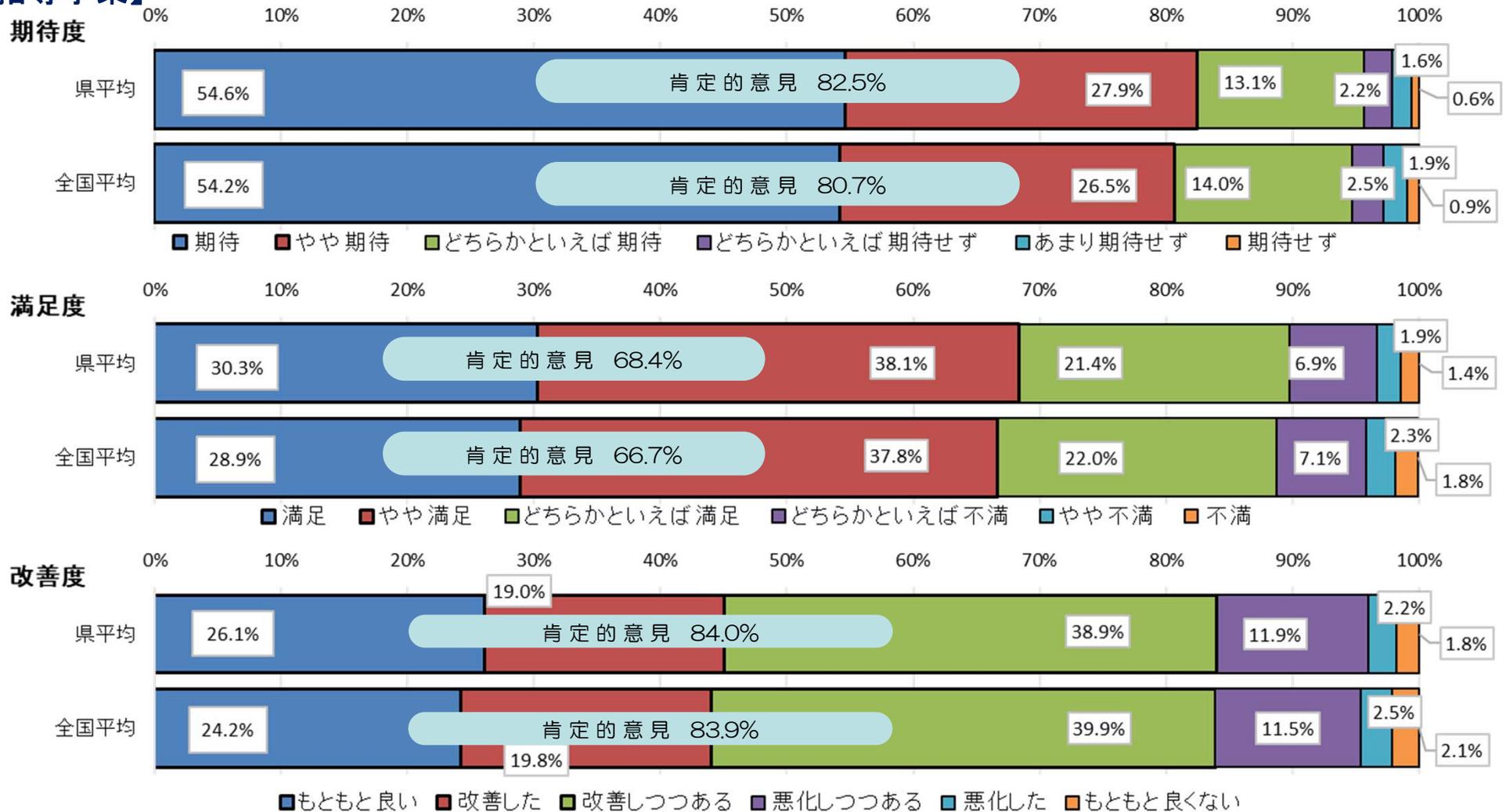
○ 営農指導事業では、期待度は82.5%が「期待している」「やや期待している」と回答しているが、満足度では「満足」「やや満足」が68.4%となっており、期待度と満足度とに乖離がある。

また、改善度に関しても「もともと良い」「改善した」が45.1%であり、今後も改善する必要があることを示している。

問2: JAグループは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」につながる分野を最重点として、下記の3つの事業を中心に拡充・強化することとしています。

1. 営農指導事業 2. 農畜産物販売事業 3. 生産資材購買事業 それぞれの事業について、あてはまるものを1つ選んでください。

【営農指導事業】



調査結果②: 営農関連事業の利用・期待度

正組合員のみ回答

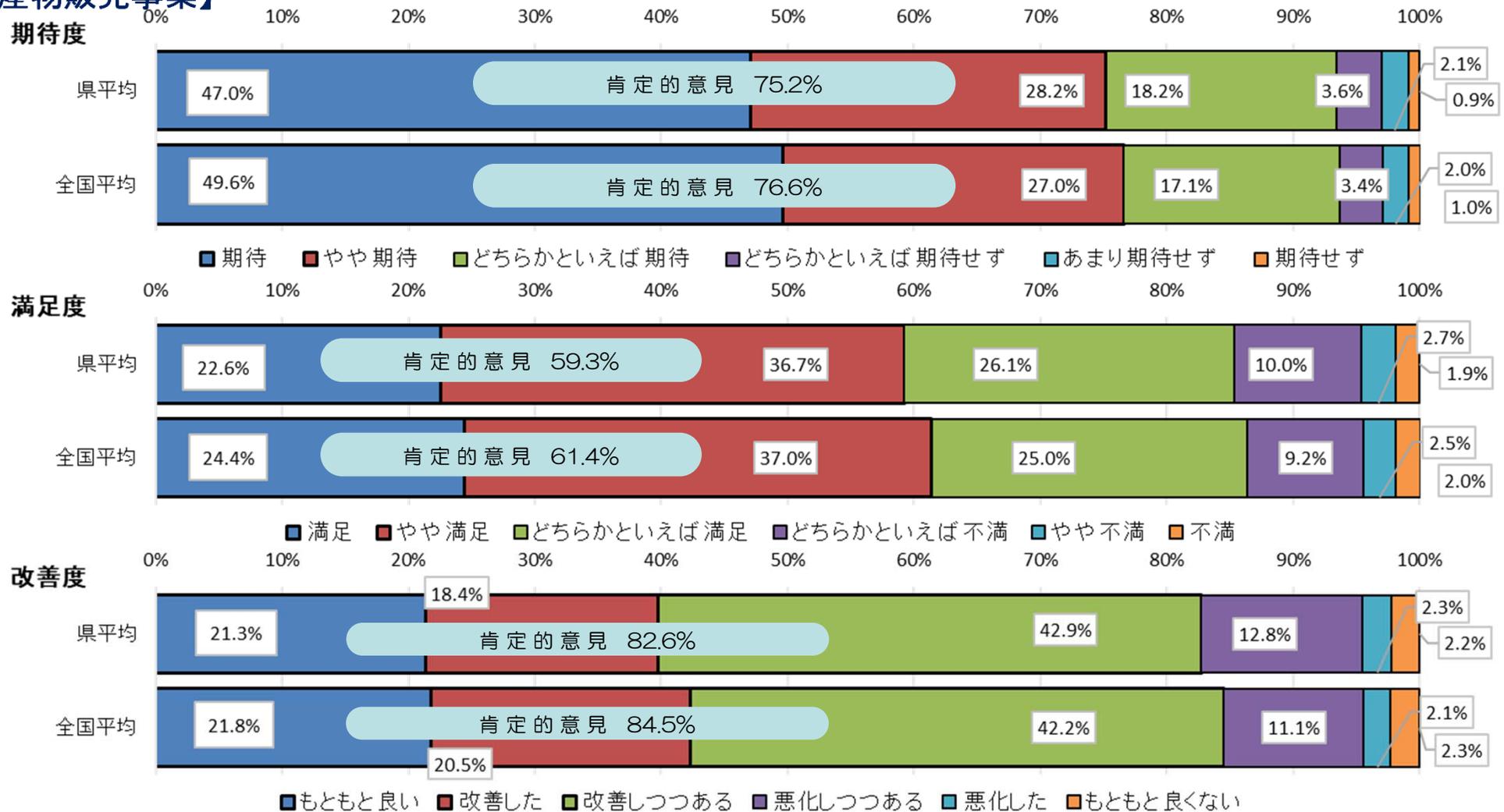
○ 農畜産物販売事業では、期待度は75.2%が「期待している」「やや期待している」と回答しているが、満足度では「満足」「やや満足」が59.3%となっており、期待度と満足度とに乖離がある。

また、改善度に関しても「もともと良い」「改善した」が39.7%であり、今後も改善する必要があることを示している。

問2: JAグループは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」につながる分野を最重点として、下記の3つの事業を中心に拡充・強化することとしています。

1. 営農指導事業 2. 農畜産物販売事業 3. 生産資材購買事業 それぞれの事業について、あてはまるものを1つ選んでください。

【農畜産物販売事業】



調査結果②: 営農関連事業の利用・期待度

正組合員のみ回答

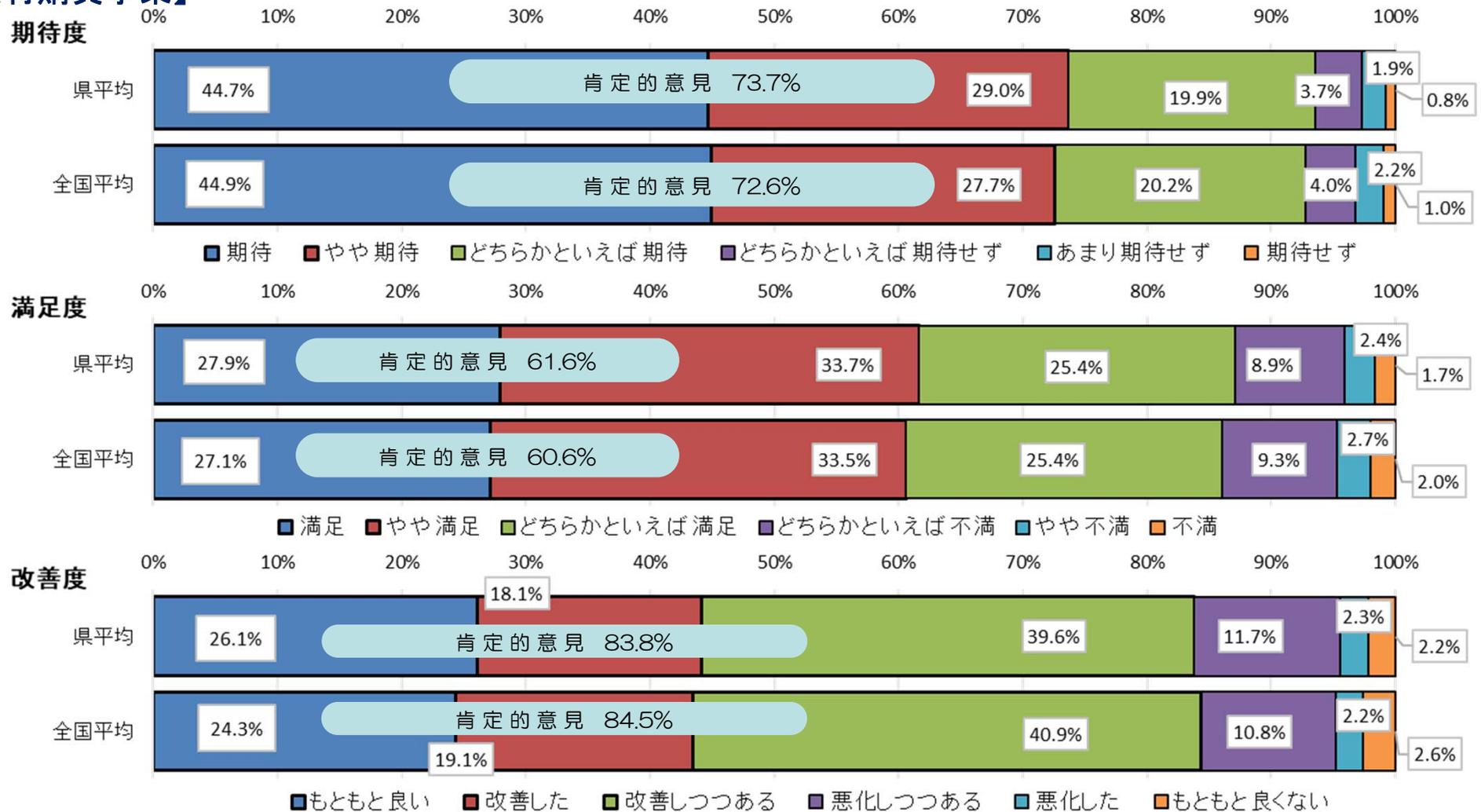
○ 生産資材購買事業では、期待度は73.7%が「期待している」「やや期待している」と回答しているが、満足度では「満足」「やや満足」が61.6%となっており、期待度と満足度とに乖離がある。

また、改善度に関しても「もともと良い」「改善した」が44.2%であり、今後も改善する必要があることを示している。

問2: JAグループは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」につながる分野を最重点として、下記の3つの事業を中心に拡充・強化することとしています。

1. 営農指導事業 2. 農畜産物販売事業 3. 生産資材購買事業 それぞれの事業について、あてはまるものを1つ選んでください。

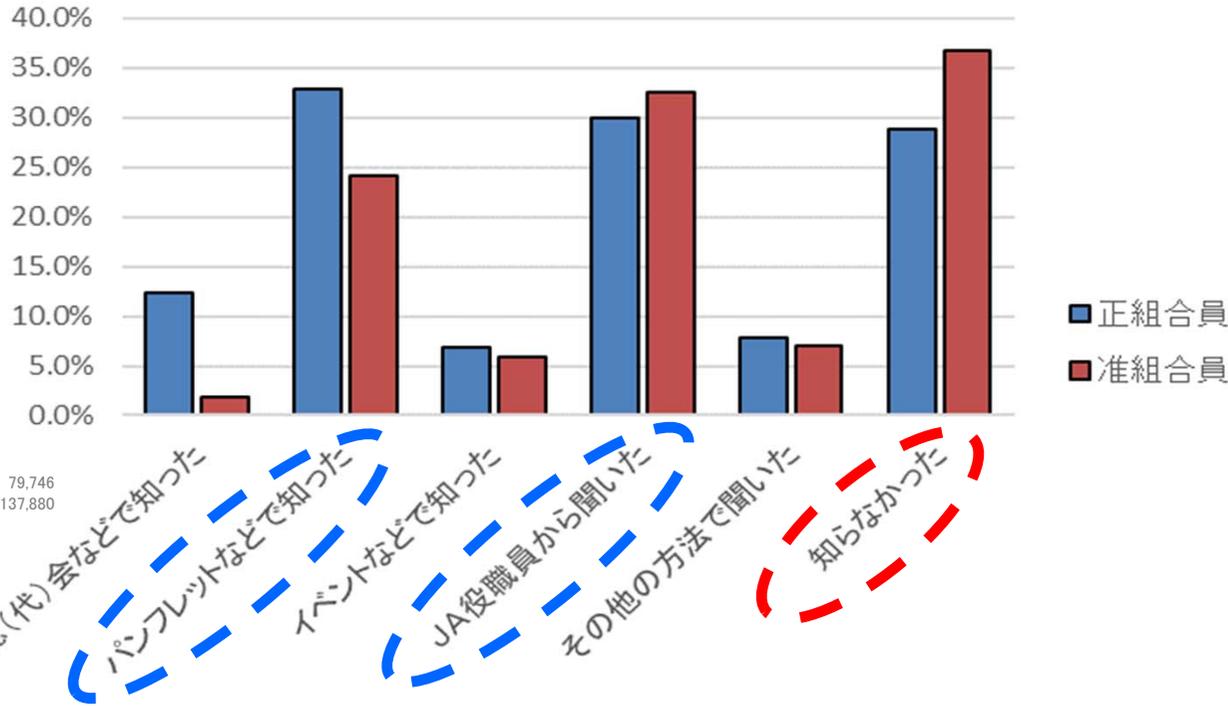
【生産資材購買事業】



調査結果③: 自己改革の認知度、JAの地域農業の振興や地域づくりの応援

- 自己改革の認知経路は、「パンフレット」・「JA役職員から聞いた」の割合が正・准組合員ともに高く、役職員の話合い運動が自己改革の周知に効果があったと言える一方、約3割の組合員が、自己改革を知らなかったと回答した。
- JAの地域農業の振興や地域づくり活動について、准組合員の96.4%が「応援したいと思う」「どちらかといえば、応援したいと思う」と回答している。

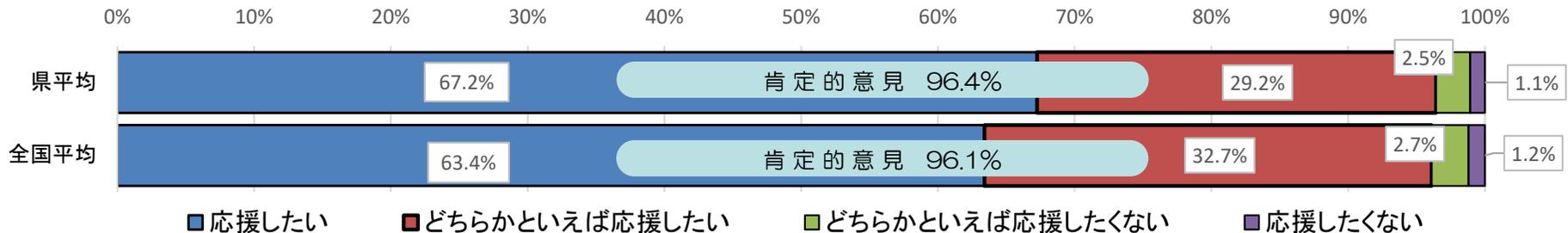
問3: JAは、「農業者の所得増大」・「農業生産の拡大」・「地域の活性化」などを目標とした自己改革に取り組んでいます。こうしたJAの取り組みをご存じですか？
(複数回答可)



- 正組合員の回答
最多：パンフレットなどで知った 32.9%
次点：JA役職員から聞いた 29.9%
- 准組合員の回答
最多：JA役職員から聞いた 32.6%
次点：パンフレットなどで知った 24.2%
- ◎ 知らなかったと答えた組合員の割合
正組合員：28.2%
准組合員：36.8%

有効回答数 正組合員 79,746
准組合員 137,880

問4A: JAの事業を利用したり、地域の農畜産物を食べることで、農業体験などを通じて、JAの地域農業の振興や地域づくり活動を応援したいと思いますか？



調査結果④：准組合員の事業の利用の制限

○ 准組合員の事業の利用の制限については、正組合員の90.6%、准組合員の94.1%が「制限しない方がよい」と回答しており、全国平均を上回る。

問4D：准組合員がJA事業の利用を制限されることについてどうお考えですか？

